

秋田県内中小企業景況調査結果

(2023年4～6月期)

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

- I. 全産業の項目別DI値
- II. 産業別DI値
- III. 地域別DI値
- IV. 産業別設備投資
- V. 地域別設備投資
- VI. 経営上の問題点
- VII. 付帯調査
- VIII. 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。
(▲: マイナス)

《参考》県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

〈回収状況〉

業種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	36 (90.0%)
製造業	40	36 (90.0%)
卸売業	40	33 (82.5%)
小売業	40	35 (87.5%)
サービス業	40	35 (87.5%)
合計	200	175 (87.5%)

地域	対象企業数	有効回答企業数
県北	50	48 (96.0%)
県央	75	69 (92.0%)
県南	75	58 (77.3%)

I. 全産業の項目別DI値

1. 業況

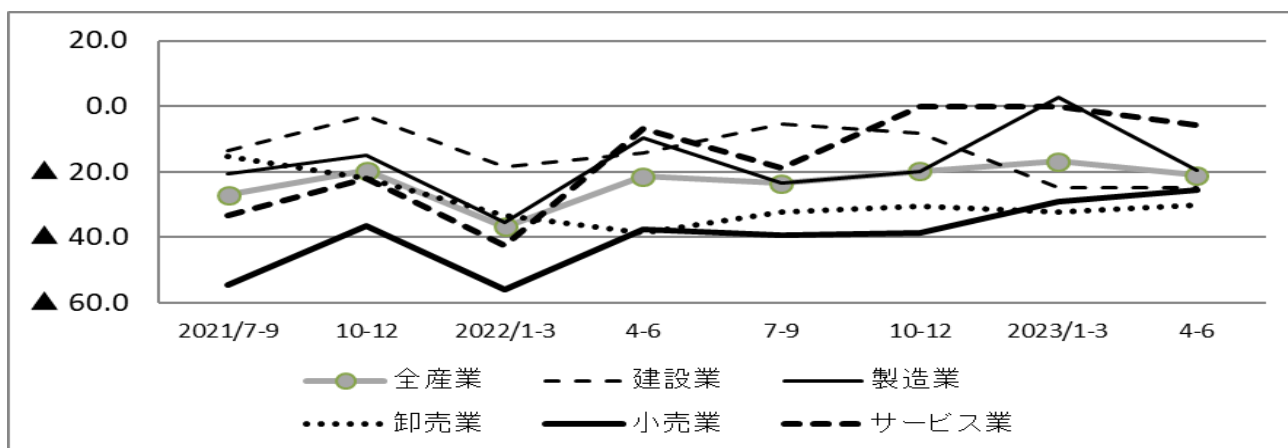
今期（4～6月）の業況DI値は、全産業で▲21.1と前期比で悪化した。

産業別では、製造業が大幅に悪化、サービス業が悪化する一方、小売業と卸売業がわずかながら改善した。建設業は横ばいとなった。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲21.7と今期比でわずかながら悪化を見通している。

産業別では、卸売業、サービス業、製造業が悪化を見通す一方、建設業と小売業が改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 16.8	▲ 21.6	▲ 21.1	-4.3	▲ 21.7	-0.6
建設業	▲ 25.0	▲ 30.5	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	2.8
製造業	2.6	▲ 10.5	▲ 19.5	-22.1	▲ 22.3	-2.8
卸売業	▲ 32.3	▲ 41.2	▲ 30.3	2.0	▲ 33.4	-3.1
小売業	▲ 29.1	▲ 25.8	▲ 25.7	3.4	▲ 22.9	2.8
サービス業	0.0	3.7	▲ 5.7	-5.7	▲ 8.6	-2.9



2. 売上額・完成工事額

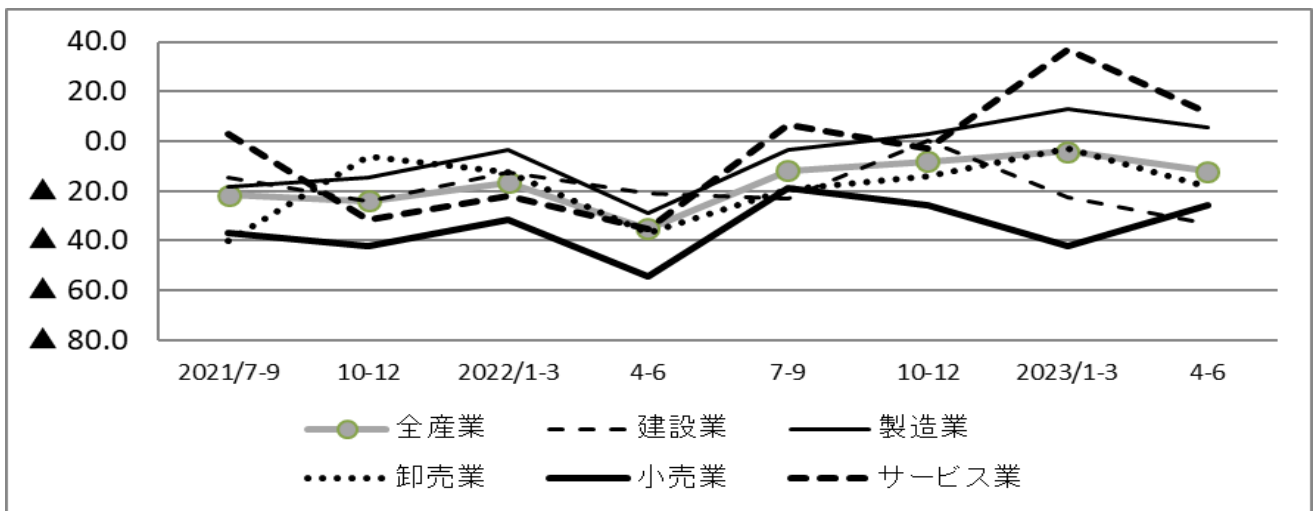
今期（4～6月）の売上額・完成工事額DI値は、全産業で▲12.0と前期比で悪化した。

産業別では、サービス業と卸売業が大幅に悪化、建設業と製造業が悪化した。小売業は大幅に改善した。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲17.1と今期比で悪化を見通している。

産業別では、製造業が大幅に悪化、サービス業と卸売業が悪化を見通す一方、建設業が改善、小売業は横ばいを見通している。製造業のDI値はマイナスに転じる見通しとなった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 4.2	▲ 9.6	▲ 12.0	-7.8	▲ 17.1	-5.1
建設業	▲ 22.3	▲ 22.2	▲ 33.3	-11.0	▲ 25.0	8.3
製造業	13.2	2.6	5.5	-7.7	▲ 11.2	-16.7
卸売業	▲ 2.9	▲ 11.8	▲ 18.1	-15.2	▲ 24.2	-6.1
小売業	▲ 42.0	▲ 35.5	▲ 25.7	16.3	▲ 25.7	0.0
サービス業	37.1	22.2	11.5	-25.6	0.0	-11.5



3. 資金繰り

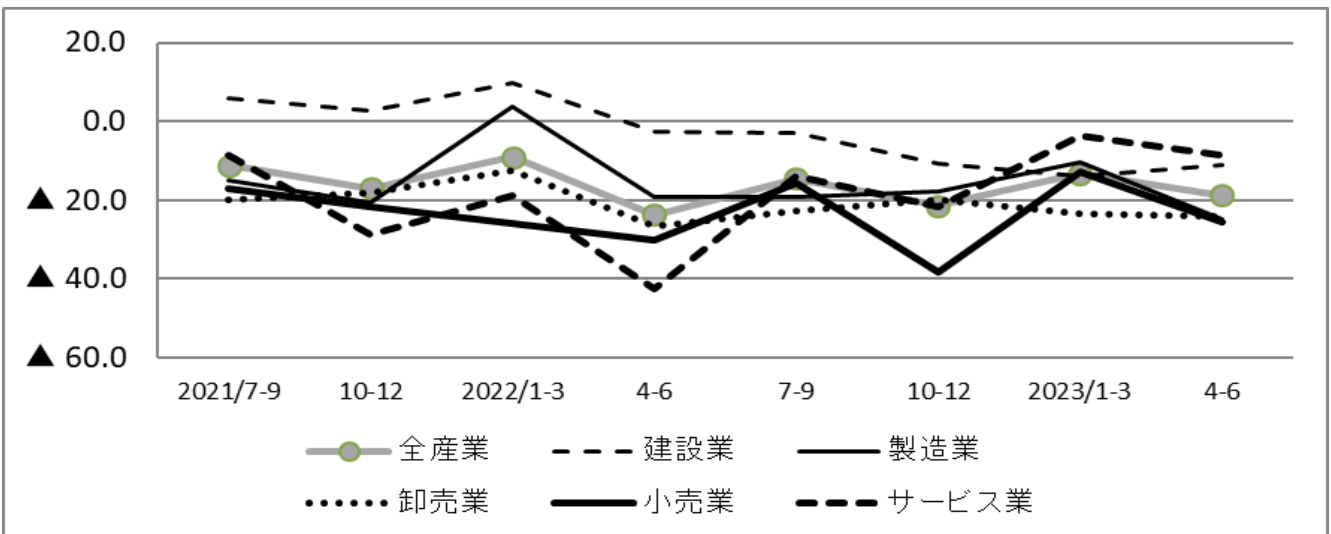
今期（4～6月）の資金繰りDI値は、全産業で▲18.8と前期比で悪化した。

産業別では、製造業、小売業、サービス業、卸売業が悪化する一方、建設業は改善した。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲16.6と**今期比でわずかながら改善を見通している。**

産業別では、サービス業が悪化を見通す一方、小売業と卸売業が改善を見通している。建設業と製造業は横ばいを見通している。

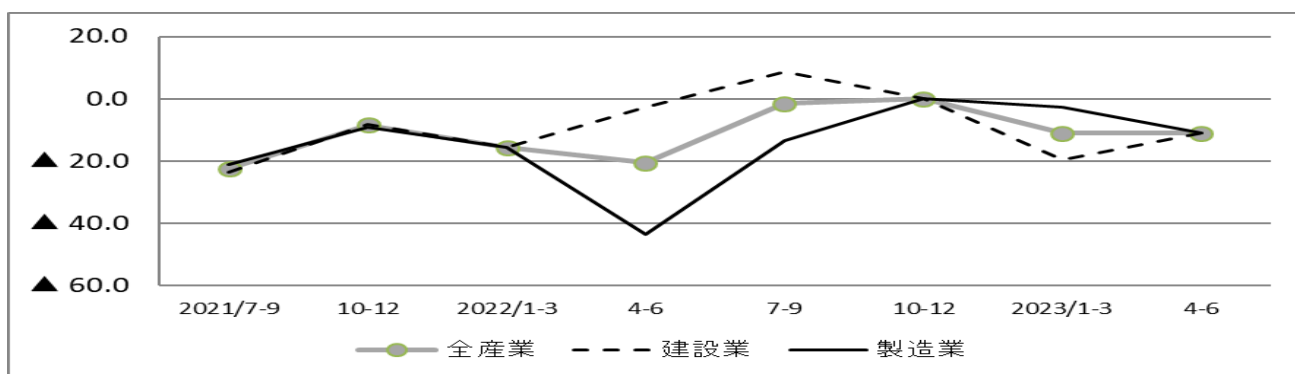
	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全産業	▲ 13.3	▲ 16.3	▲ 18.8	-5.5	▲ 16.6	2.2
建設業	▲ 13.9	▲ 11.1	▲ 11.1	2.8	▲ 11.1	0.0
製造業	▲ 10.5	▲ 23.6	▲ 25.0	-14.5	▲ 25.0	0.0
卸売業	▲ 23.6	▲ 20.6	▲ 24.3	-0.7	▲ 21.2	3.1
小売業	▲ 12.9	▲ 12.9	▲ 25.7	-12.8	▲ 11.5	14.2
サービス業	▲ 3.7	▲ 11.1	▲ 8.6	-4.9	▲ 14.3	-5.7



4. 受注残（未消化工事高）

今期（4～6月）の受注残DI値は、全産業で▲11.1と前期比でわずかながら悪化した。産業別では、製造業が悪化する一方、建設業が改善した。来期（7～9月）の見通しは、全産業で▲23.3と今期比で悪化を見通している。産業別では、建設業と製造業のいずれも悪化を見通している。

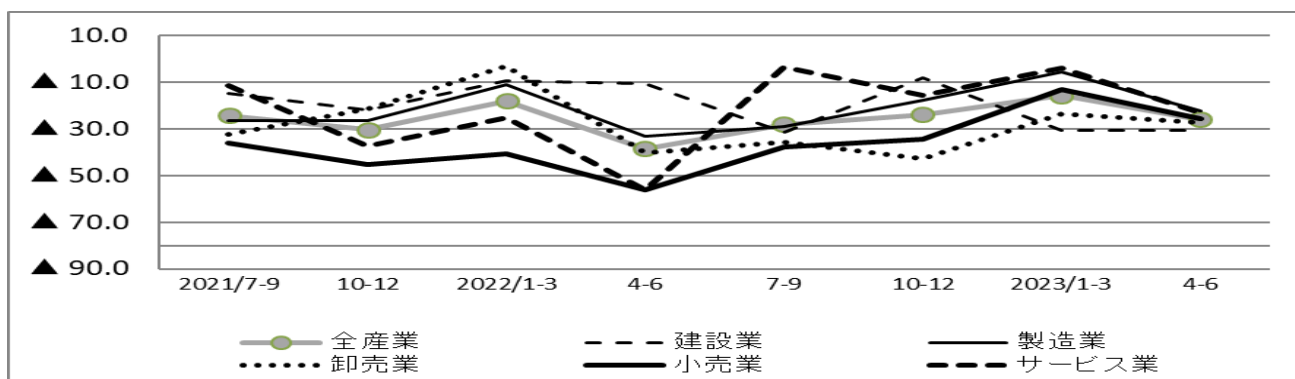
	前期(1-3月)		来期見通 (4~6月) (C)	今期(4-6月)		
	(A)	(B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 11.0	2.7	▲ 11.1	-0.1	▲ 23.3	-12.2
建設業	▲ 19.5	▲ 8.3	▲ 11.1	8.4	▲ 25.0	-13.9
製造業	▲ 2.7	13.5	▲ 11.1	-8.4	▲ 22.3	-11.2



5. 採算（経常利益）

今期（4～6月）の採算DI値は、全産業で▲25.8と前期比で悪化した。産業別では、サービス業と製造業が大幅に悪化、小売業が悪化、卸売業と建設業もわずかながら悪化した。来期（7～9月）の見通しは、全産業で▲24.6と今期比でわずかながら改善を見通している。産業別では、卸売業と製造業が悪化を見通す一方、サービス業、小売業、建設業が改善を見通している。

	前期(1-3月)		来期見通 (4~6月) (C)	今期(4-6月)		
	(A)	(B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 15.6	▲ 13.8	▲ 25.8	-10.2	▲ 24.6	1.2
建設業	▲ 30.5	▲ 27.8	▲ 30.6	-0.1	▲ 25.0	5.6
製造業	▲ 5.3	▲ 7.9	▲ 22.2	-16.9	▲ 27.7	-5.5
卸売業	▲ 23.6	▲ 23.6	▲ 27.3	-3.7	▲ 33.3	-6.0
小売業	▲ 12.9	▲ 3.2	▲ 25.7	-12.8	▲ 20.0	5.7
サービス業	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 22.9	-19.2	▲ 17.1	5.8



6. 従業員（含む臨時）

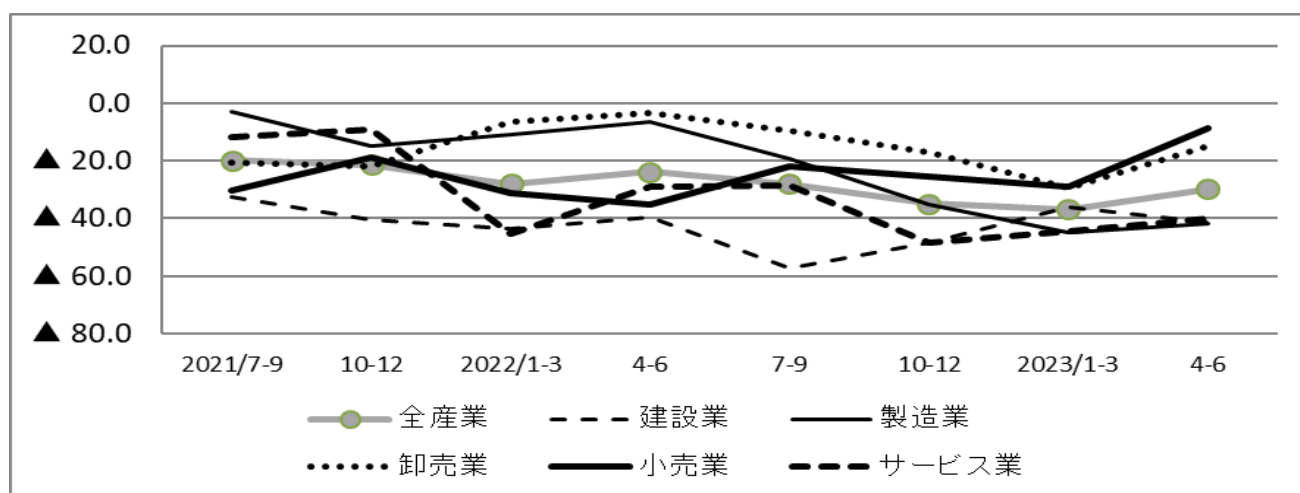
今期（4～6月）の従業員DI値は、全産業で▲29.7と前期比で不足感が縮小した。

産業別では、建設業で不足感が拡大する一方、小売業と卸売業は不足感を大幅に縮小、サービス業と製造業も不足感が縮小した。

来期の見通し（7～9月）は、全産業で▲28.6と今期比でわずかながら不足感の縮小を見通している。

産業別では、卸売業と小売業がわずかながら不足感の拡大を見通す一方、製造業は不足感が縮小、サービス業と建設業もわずかながら不足感の縮小を見通している。

	前期(1-3月)		(C)	今期(4-6月)		
	(A)	来期見通		(C)-(A)	(D)	来期見通(7~9月)
		(4~6月)				今期比
	(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(D)	(D)-(C)
全産業	▲ 36.8	▲ 35.0	▲ 29.7	7.1	▲ 28.6	1.1
建設業	▲ 36.1	▲ 41.6	▲ 41.6	-5.5	▲ 38.9	2.7
製造業	▲ 44.8	▲ 36.8	▲ 41.7	3.1	▲ 36.1	5.6
卸売業	▲ 29.5	▲ 29.4	▲ 15.1	14.4	▲ 18.1	-3.0
小売業	▲ 29.0	▲ 25.8	▲ 8.6	20.4	▲ 11.4	-2.8
サービス業	▲ 44.5	▲ 40.7	▲ 40.0	4.5	▲ 37.2	2.8



II. 産業別DI値

1. 建設業

今期（4～6月）のDI値は、業況が▲25.0と前期比で横ばいとなった。

項目別では、完成工事額が悪化し、採算もわずかながら悪化する一方、受注残と資金繰りは改善した。従業員は不足感が拡大した。

企業からは、「民間工事の減少により完成工事額が減少した」【塗装工事業】とのコメントがあった。

来期の見通し（7～9月）は、業況が▲22.2と今期比でわずかながら改善を見通している。

項目別では、受注残が悪化を見通す一方、完成工事額と採算は改善を見通している。資金繰りは横ばいを見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは「官公工事の未成が増加する見込み」【塗装工事業】や、「売上高は増加する見込み」【一般電気工事業】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月)	
		(B)			(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 25.0	▲ 30.5	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	2.8
完成工事額	▲ 22.3	▲ 22.2	▲ 33.3	-11.0	▲ 25.0	8.3
資金繰り	▲ 13.9	▲ 11.1	▲ 11.1	2.8	▲ 11.1	0.0
受注残	▲ 19.5	▲ 8.3	▲ 11.1	8.4	▲ 25.0	-13.9
採算(経常利益)	▲ 30.5	▲ 27.8	▲ 30.6	-0.1	▲ 25.0	5.6
従業員(含む臨時)	▲ 36.1	▲ 41.6	▲ 41.6	-5.5	▲ 38.9	2.7

2. 製造業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲19.5と前期比で大幅に悪化した。

項目別では、採算と資金繰りが大幅に悪化し、受注残と売上額も悪化した。従業員の不足感は縮小した。

企業からは、「原材料の高騰に売上が追い付けない」【製麺業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲22.3と今期比でわずかながら悪化を見通している。

項目別では、売上額が大幅な悪化、受注残と採算も悪化、資金繰りは横ばいを見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「円安による輸入原料の価格上昇が続くと予想している」【水産物製造・卸売業】「資材の上昇により売上は上がるが、利益率は下がると思われる」【金属製品製造業】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月)	
		(B)			(D)	今期比 (D)-(C)
業況	2.6	▲ 10.5	▲ 19.5	-22.1	▲ 22.3	-2.8
売上額	13.2	2.6	5.5	-7.7	▲ 11.2	-16.7
資金繰り	▲ 10.5	▲ 23.6	▲ 25.0	-14.5	▲ 25.0	0.0
受注残	▲ 2.7	13.5	▲ 11.1	-8.4	▲ 22.3	-11.2
採算(経常利益)	▲ 5.3	▲ 7.9	▲ 22.2	-16.9	▲ 27.7	-5.5
従業員(含む臨時)	▲ 44.8	▲ 36.8	▲ 41.7	3.1	▲ 36.1	5.6

3. 卸売業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲30.3と前期比でわずかながら改善した。

項目別では、売上額が大幅に悪化、採算と資金繰りもわずかながら悪化した。従業員の不足感は縮小した。

企業からは、「値上げにより、売上・利益共に好転した」【飲料卸売業】、「値上げに伴う売上が増加した。利益率は低下している」【その他の食料・飲料卸売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲33.4と今期比でわずかながら悪化を見通している。

項目別では、売上額と採算が悪化を見通す一方、資金繰りでわずかながら改善を見通している。従業員の不足感は拡大を見通している。

企業からは、「今期は値上げにより売上が増加したが、次期は増加が見込めない」【飲料卸売業】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 32.3	▲ 41.2	▲ 30.3	2.0	▲ 33.4	-3.1
売上額	▲ 2.9	▲ 11.8	▲ 18.1	-15.2	▲ 24.2	-6.1
資金繰り	▲ 23.6	▲ 20.6	▲ 24.3	-0.7	▲ 21.2	3.1
採算(経常利益)	▲ 23.6	▲ 23.6	▲ 27.3	-3.7	▲ 33.3	-6.0
従業員(含む臨時)	▲ 29.5	▲ 29.4	▲ 15.1	14.4	▲ 18.1	-3.0

4. 小売業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲25.7と前期比でわずかながら改善した。

項目別では、資金繰りと採算が悪化する一方、売上額は大幅に改善した。従業員は不足感が大幅に縮小した。

企業からは、「半導体不足の影響があるものの、低燃費車のHEV車等メーカー生産が正常化に戻りつつあり、国内向け出荷台数が増加していることから、増収・増益となった」【自動車小売業】、「資金繰りで苦しい月があった」【菓子製造小売】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲22.9と今期比でわずかながら改善を見通している。

項目別では、資金繰りと採算が改善し、売上額は横ばいを見通している。従業員の不足感はずかながら拡大を見通している。

企業からは、「業界の規制緩和により、積極的な販路拡大に取り組もうとしている」【茶類小売業】、「繁忙期に入るため、資金繰り等が安定する見込み」【菓子製造小売】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 29.1	▲ 25.8	▲ 25.7	3.4	▲ 22.9	2.8
売上額	▲ 42.0	▲ 35.5	▲ 25.7	16.3	▲ 25.7	0.0
資金繰り	▲ 12.9	▲ 12.9	▲ 25.7	-12.8	▲ 11.5	14.2
採算(経常利益)	▲ 12.9	▲ 3.2	▲ 25.7	-12.8	▲ 20.0	5.7
従業員(含む臨時)	▲ 29.0	▲ 25.8	▲ 8.6	20.4	▲ 11.4	-2.8

5. サービス業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲5.7と前期比で悪化した。

項目別では、売上額と採算が大幅に悪化し、資金繰りも悪化した。従業員の不足感は縮小した。

企業からは、「コロナから売上は戻りつつあるが、コロナ前の水準には達しておらず、一方で物価高の影響や賃金上昇により利益は減少している状況」【ホテル業】、「商店街への来街者が減少している」【写真館】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲8.6とマイナスに転じ、今期比で悪化を見通している。

項目別では、売上額と資金繰りで悪化を見通す一方、採算は改善を見通している。従業員の不足感はずかながら縮小を見通している。

企業からは「売上の増加は見込めるが、光熱費や作業用品などの値上がりにより、採算が取れない」【ビルメンテナンス業】とのコメントがあった。

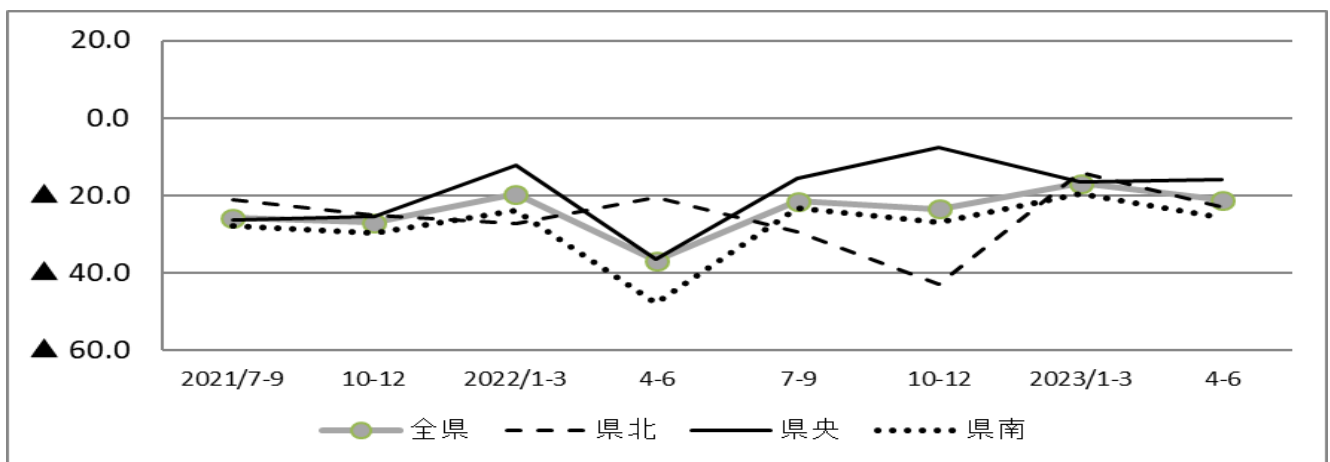
	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月)	
		(B)			(D)	今期比 (D)-(C)
業況	0.0	3.7	▲ 5.7	-5.7	▲ 8.6	-2.9
売上額	37.1	22.2	11.5	-25.6	0.0	-11.5
資金繰り	▲ 3.7	▲ 11.1	▲ 8.6	-4.9	▲ 14.3	-5.7
採算(経常利益)	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 22.9	-19.2	▲ 17.1	5.8
従業員(含む臨時)	▲ 44.5	▲ 40.7	▲ 40.0	4.5	▲ 37.2	2.8

Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期(4~6月)のDI値は、前期比で県北と県南が悪化、県央はわずかながら改善した。
来期の見通し(7~9月)は、今期比で県央が悪化、県南と県北はわずかながら改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月)	
		(B)			(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 16.8	▲ 21.6	▲ 21.1	-4.3	▲ 21.7	-0.6
県 北	▲ 14.0	▲ 23.2	▲ 23.0	-9.0	▲ 20.8	2.2
県 央	▲ 16.4	▲ 17.9	▲ 16.0	0.4	▲ 21.8	-5.8
県 南	▲ 19.6	▲ 25.0	▲ 25.8	-6.2	▲ 22.5	3.3

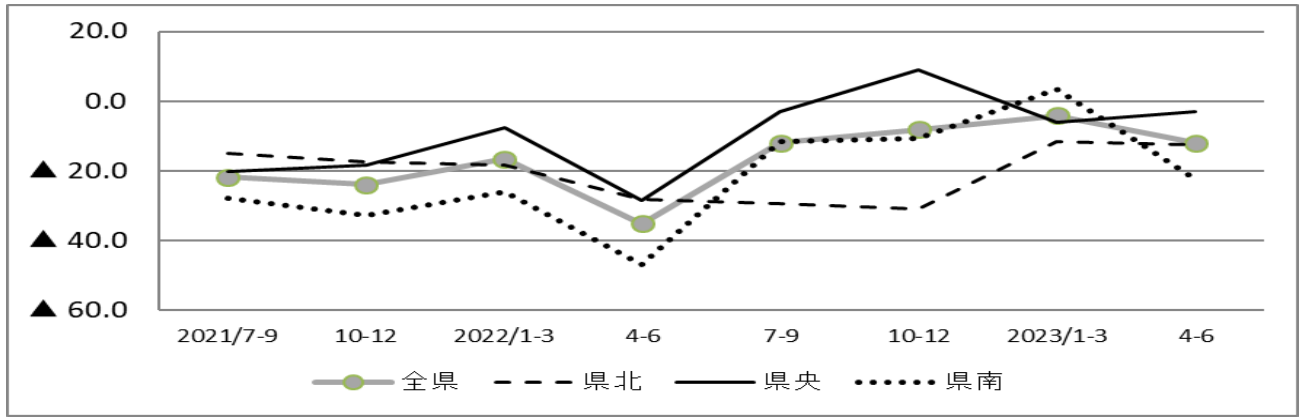


2. 売上額・完成工事額

今期(4~6月)のDI値は、前期比で県南がマイナス26.0ポイントと大幅に悪化、県北もわずかながら悪化する一方、県央はわずかながら改善した。

来期の見通し(7~9月)は、今期比で県央と県南が悪化を見通す一方、県北は改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7~9月)	
		(B)			(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 4.2	▲ 9.6	▲ 12.0	-7.8	▲ 17.1	-5.1
県 北	▲ 11.6	▲ 9.3	▲ 12.5	-0.9	▲ 8.4	4.1
県 央	▲ 6.0	▲ 10.4	▲ 2.9	3.1	▲ 14.5	-11.6
県 南	3.6	▲ 8.9	▲ 22.4	-26.0	▲ 27.6	-5.2

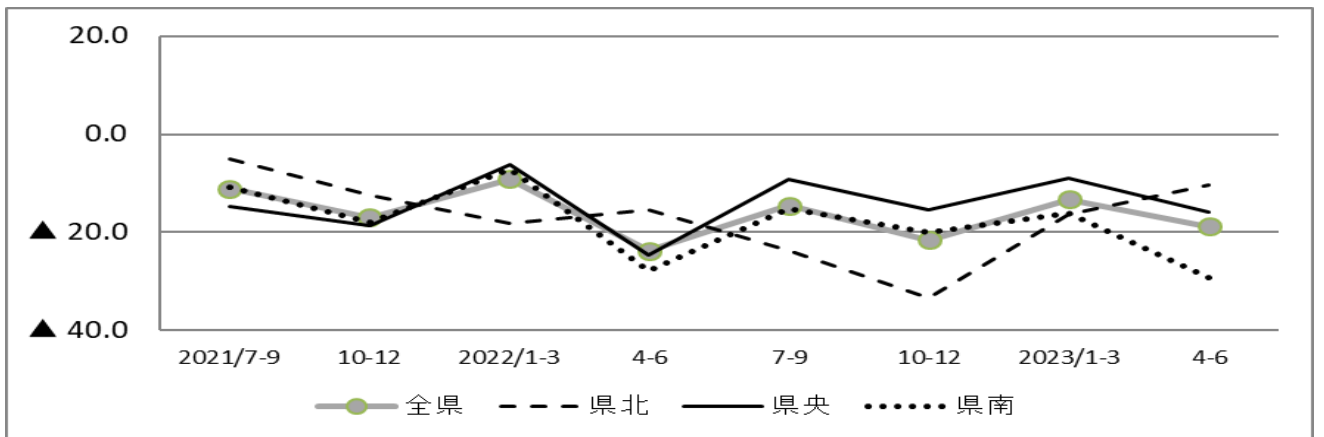


3. 資金繰り

今期（4～6月）のDI値は、前期比で県南と県央が悪化する一方、県北は改善した。

来期の見通し（7～9月）は、県北が悪化、県央もわずかながら悪化を見通す一方、県南は改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通(4-6月)(B)	(C)	前期比(C)-(A)	来期見通(7-9月)(D)	今期比(D)-(C)
全県	▲ 13.3	▲ 16.3	▲ 18.8	-5.5	▲ 16.6	2.2
県北	▲ 16.3	▲ 18.6	▲ 10.4	5.9	▲ 14.6	-4.2
県央	▲ 9.0	▲ 12.0	▲ 15.9	-6.9	▲ 17.4	-1.5
県南	▲ 16.1	▲ 19.6	▲ 29.3	-13.2	▲ 17.3	12.0

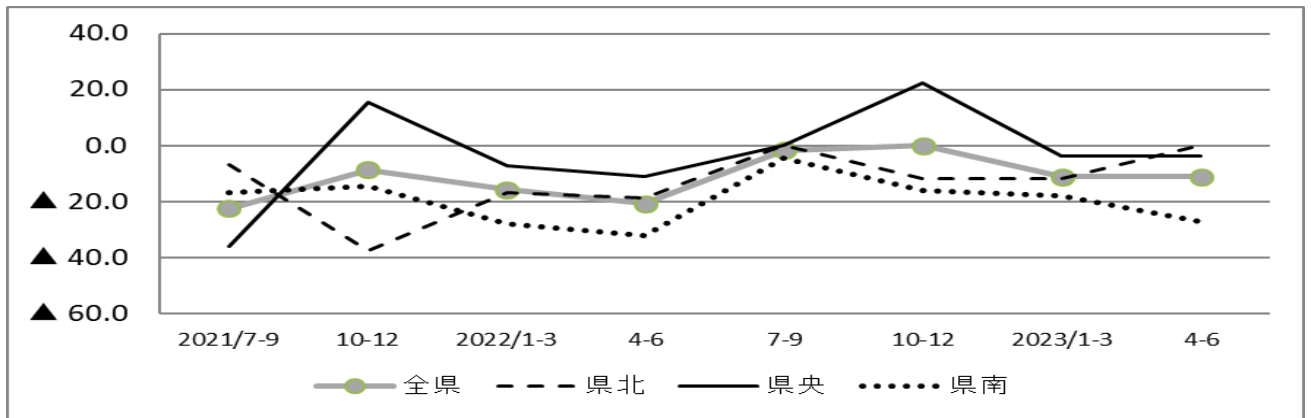


4. 受注残（未消化工事高）

今期（4～6月）のDI値は、前期比で県南が悪化する一方、県北は改善した。県央は横ばいとなった。

来期の見通し（7～9月）は、今期比で県北がマイナス33.3ポイントと大幅な悪化、県央も悪化を見通す一方、県南はわずかながら改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通(4-6月)(B)	(C)	前期比(C)-(A)	来期見通(7-9月)(D)	今期比(D)-(C)
全県	▲ 11.0	2.7	▲ 11.1	-0.1	▲ 23.3	-12.2
県北	▲ 11.7	17.6	0.0	11.7	▲ 33.3	-33.3
県央	▲ 3.6	3.6	▲ 3.6	0.0	▲ 13.8	-10.2
県南	▲ 17.9	▲ 7.1	▲ 27.0	-9.1	▲ 26.9	0.1

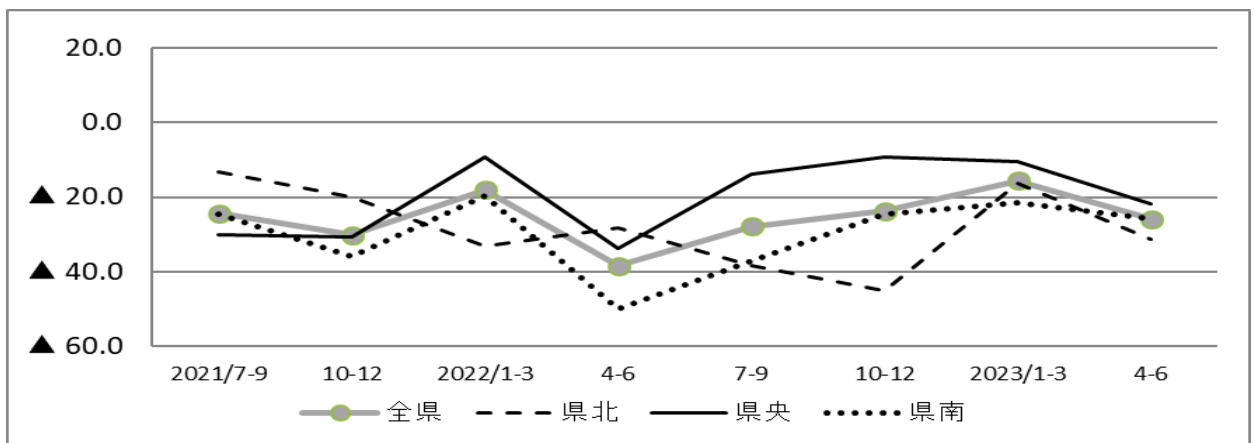


5. 採算（経常利益）

今期（4～6月）のDI値は、前期比で県内全域において悪化した。特に県北はマイナス15.0ポイントと大幅に悪化した。

来期の見通し（7～9月）は、今期比で県央がわずかながら悪化を見通す一方、県北と県南は改善を見通している。

	前期(1-3月)		(C)	今期(4-6月)		
	(A)	来期見通(4~6月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(7~9月)(D)	今期比(D)-(C)
全県	▲ 15.6	▲ 13.8	▲ 25.8	-10.2	▲ 24.6	1.2
県北	▲ 16.3	▲ 23.2	▲ 31.3	-15.0	▲ 27.0	4.3
県央	▲ 10.4	▲ 6.0	▲ 21.7	-11.3	▲ 24.6	-2.9
県南	▲ 21.4	▲ 16.1	▲ 25.9	-4.5	▲ 22.4	3.5

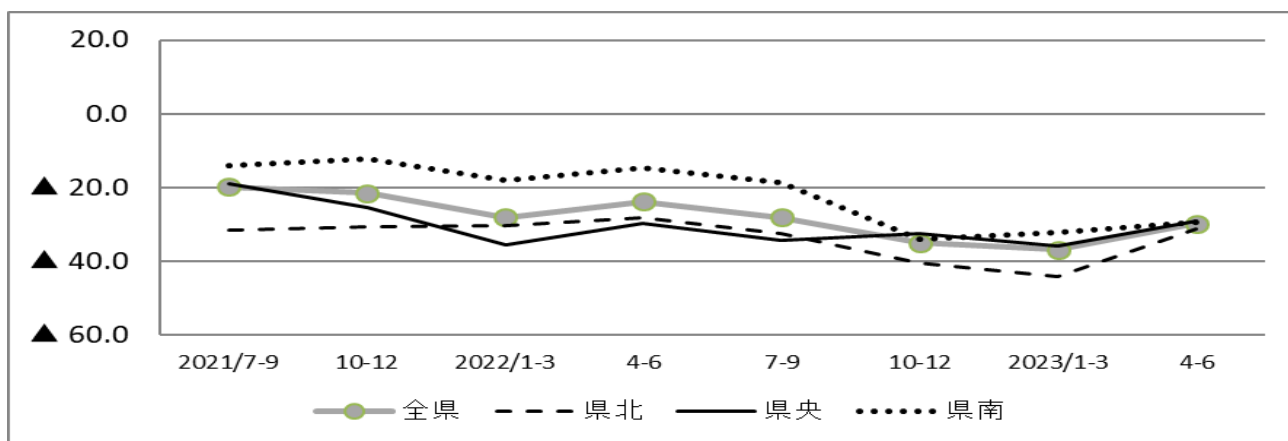


6. 従業員（含む臨時）

今期（4～6月）のDI値は、前期比で県内全域において不足感を縮小した。

来期の見通し（7～9月）は、今期比で県北が不足感の縮小、県央と県南は横ばいを見通している。

	前期(1-3月)		(C)	今期(4-6月)		
	(A)	来期見通(4~6月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(7~9月)(D)	今期比(D)-(C)
全県	▲ 36.8	▲ 35.0	▲ 29.7	7.1	▲ 28.6	1.1
県北	▲ 44.2	▲ 41.9	▲ 31.2	13.0	▲ 27.1	4.1
県央	▲ 35.8	▲ 37.3	▲ 29.0	6.8	▲ 29.0	0.0
県南	▲ 32.1	▲ 26.8	▲ 29.3	2.8	▲ 29.3	0.0



IV. 産業別設備投資

全産業における今期（4～6月）の設備投資については、「実施した」とする企業は、56件と前期比で5件増加した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、建設業（15件）、次いで製造業（14件）、サービス業（12件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容の最も多かったのは、「車両・運搬具」「OA機器」（ともに14件）、次いで「機械・設備・倉庫」（12件）、「付帯施設」（11件）の順となっている。

来期（7～9月）の計画では、全産業で「計画している」としたのは50件で、今期比で6件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、建設業（14件）、次いでサービス業（13件）、製造業（11件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容の最も多かったのは「建物・工場・店舗」（16件）、「車両・運搬具」（15件）、「機械・設備・倉庫」（10件）の順となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(1-3月)				今期(4-6月)					
	実施した (A)	実施しない	来期見通(4~6月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期見通(7~9月)		
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全産業	51	110	49	112	56	119	5	50	125	▲6
建設業	16	20	13	23	15	21	▲1	14	22	▲1
製造業	12	18	10	20	14	22	2	11	25	▲3
卸売業	8	28	6	30	7	26	▲1	7	26	0
小売業	4	27	8	23	8	27	4	5	30	▲3
サービス業	11	17	12	16	12	23	1	13	22	1

設備内容(複数回答)

(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	5	3	3	0	1	0	0	0	0	2	1
②建物・工場・店舗	10	16	2	5	2	5	1	1	2	1	3	4
③機械・設備・倉庫	12	10	2	1	7	4	1	2	0	1	2	2
④車両・運搬具	14	15	4	4	0	1	1	3	3	3	6	4
⑤付帯施設	11	9	0	0	4	2	2	3	2	1	3	3
⑥OA機器	14	8	5	4	2	0	3	1	1	1	3	2
⑦福利厚生施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧その他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	67	63	16	17	15	13	9	10	8	7	19	16

V. 地域別設備投資

今期（4～6月）の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で県南が減少し、県北と県央は増加した。

設備投資で最も多いのは、県北で「OA機器」（7件）、県央で「車両・運搬具」（7件）、県南で「建物・工場・店舗」（4件）となった。

来期（7～9月）の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で県北と県央が減少、県南が増加を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「建物・工場・店舗」「機械・設備・倉庫」（ともに5件）、県央で「車両・運搬具」（8件）、県南で「建物・工場・店舗」（5件）となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(1-3月)				今期(4-6月)					
	実施した (A)	実施しない	来期見通(4~6月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期見通(7~9月)		
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全体	51	110	49	112	56	119	5	50	125	▲6
県北	12	23	14	21	19	29	7	15	33	▲4
県央	23	42	21	44	25	44	2	22	47	▲3
県南	16	45	14	47	12	46	▲4	13	45	1

設備内容（複数回答）

(件数)

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	5	1	1	2	2	2	2
②建物・工場・店舗	10	16	2	5	4	6	4	5
③機械・設備・倉庫	12	10	4	5	6	2	2	3
④車両・運搬具	14	15	6	4	7	8	1	3
⑤付帯施設	11	9	3	2	5	4	3	3
⑥OA機器	14	8	7	2	5	4	2	2
⑦福利厚生施設	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧その他	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	67	63	23	19	30	26	14	18

VI. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、建設業が「材料価格の上昇」、製造業は「原材料価格の上昇」、卸売業は「仕入単価の上昇」、小売業は「人件費以外の経費の増加」「仕入単価の上昇」、サービス業は「従業員の確保難」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「熟練技術者の確保難」、製造業が「人件費の増加」「下請業者の確保難」、卸売業が「従業員の確保難」、小売業が「購買力の他地域への流出」「従業員の確保難」「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業が「材料等仕入単価の上昇」「利用者ニーズの変化への対応」「人件費以外の経費の増加」を問題点として挙げており、原材料価格や仕入単価の上昇、人材不足、需要停滞、消費者ニーズ変化への対応等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1位		2位		3位	
建設業	材料価格の上昇		熟練技術者の確保難		材料価格の上昇	
	22.9%	8件	25.7%	9件	22.6%	7件
製造業	原材料価格の上昇		原材料価格の上昇		人件費の増加 下請業者の確保難	
	30.3%	10件	34.4%	11件	17.2%	5件
卸売業	仕入単価の上昇		仕入単価の上昇		従業員の確保難	
	24.2%	8件	29.0%	9件	22.2%	6件
小売業	人件費以外の経費の増加 仕入単価の上昇		購買力の他地域への流出 人件費以外の経費の増加 仕入単価の上昇 従業員の確保難		消費者ニーズの変化への対応	
	15.6%	5件	13.3%	4件	21.4%	6件
サービス業	従業員の確保難		材料等仕入単価の上昇		利用者ニーズの変化への対応 人件費以外の経費の増加	
	25.8%	8件	22.6%	7件	18.5%	5件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数(=100%)の割合を示したものの。

参考:1~3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	材料価格の上昇		熟練技術者の確保難		従業員の確保難 下請業者の確保難	
	18.8%	19件	15.8%	16件	11.9%	12件
製造業	原材料価格の上昇		従業員の確保難		人件費の増加	
	25.5%	24件	11.7%	11件	10.6%	10件
卸売業	仕入単価の上昇		需要の停滞		従業員の確保難	
	23.1%	21件	17.6%	16件	13.2%	12件
小売業	人件費以外の経費の増加		消費者ニーズの変化への対応 仕入単価の上昇		従業員の確保難 需要の停滞	
	15.6%	14件	13.3%	12件	10.0%	9件
サービス業	材料等仕入単価の上昇 従業員の確保難		人件費以外の経費の増加		人件費の増加 需要の停滞	
	16.1%	14件	13.8%	12件	11.5%	10件

※ %は1~3位までの総回答数(=100%)の割合を示したものの。

【付帯調査】

◎インボイス制度、電子帳簿保存法、社内業務のデジタル化に関する取組調査

IV. インボイス制度（2023年10月）に関する取組について

- ・インボイス制度に関する取組について聞いたところ、回答のあった175社中、①「既に準備は完了している」が76社43.4%、②「準備に取り掛かっている」が58社33.1%、③「導入を検討している」が19社10.9%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①既に準備は完了している	76	43.4%
②準備に取り掛かっている	58	33.1%
③導入を検討している	19	10.9%
④情報収集は行っているが、取り掛かしていない	16	9.1%
⑤導入しない（導入の必要がない）	6	3.4%
合 計	175	

V. インボイス制度への対応に向けた現在の進捗状況について（複数回答）

- ・問IVで「②準備に取り掛かっている」「③導入を検討している」「④情報収集は行っているが、取り掛かかしていない」と回答のあった企業93社に進捗を聞いたところ、②「帳簿・請求書・納品書等の書式を変更中」が50件53.8%、①「事業者登録を申請中または準備中」が39件41.9%、③「システムを整備中」、が31件33.3%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①事業者登録を申請中または準備中	39	41.9%
②帳簿・請求書・納品書等の書式を変更中	50	53.8%
③システムを整備中	31	33.3%
④格設定を見直し中	12	12.9%
⑤取引先の免税事業者と調整中	13	14.0%
⑥その他	6	6.5%

○その他のコメント

<建設業>

- ・準備のための研修会に参加予定（一般土木建築工事業）

<小売業>

- ・取りかかかしていない（時計・眼鏡・光学機械小売業） / （精肉）

<サービス業>

- ・登録したものの何からやっていいのかがわからない（その他の自動車整備業）
- ・税理士と相談中（ホテル業） / （写真館）

VI. 電子帳簿保存法（2024年1月）に関する取組について

- ・電子帳簿保存法に関する取組について聞いたところ、回答のあった175社中、②「準備に取り掛かっている」が54社30.9%、④「情報収集は行っているが、取り掛かっていない」が51社29.1%、①「既に準備を完了している」および③「導入を検討している」が26社14.9%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①既に準備を完了している	26	14.9%
②準備に取り掛かっている	54	30.9%
③導入を検討している	26	14.9%
④情報収集は行っているが、取り掛かっていない	51	29.1%
⑤導入しない（導入の必要がない）	14	8.0%
⑥その他	4	2.3%
合 計	175	

○その他のコメント

<小売業>

- ・未定（牛乳販売）

<サービス業>

- ・未定（自動車一般整備業）
- ・何からやったらいいのかわからない（その他の自動車整備業）
- ・内容がわからない（建築設計）

VII. 電子帳簿保存法への対応に向けた現在の進捗状況について（複数回答）

- ・問VIで「②準備に取り掛かっている」「③導入を検討している」「④情報収集は行っているが、取り掛かっていない」と回答のあった131社に対し、進捗を聞いたところ、①「対応するサービスを検討中」が93件71.0%、②「社内の事務処理規定等を整備中」が39件29.8%、③「取引先と調整中」が17件13.0%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①対応するサービスを検討中（会計、文書管理システム等）	93	71.0%
②社内の事務処理規定等を整備中	39	29.8%
③取引先と調整中	17	13.0%
④その他	4	3.1%

○その他のコメント

<建設業>

- ・研修会等で勉強中（一般土木建築工事業）

<卸売業>

- ・支援制度の内容が現場と合致していない部分がある（その他の食料・飲料卸売業）
- ・未定（左官資材卸売）
- ・未定（青果卸売）

VIII. 社内業務のデジタル化に関する取組について

- 社内業務のデジタル化に関する取組について聞いたところ、回答のあった175社中、②「今後取り組む予定」が85社48.6%、①「既に取り組んでいる」が51社29.1%、③「取り組む予定はない」が39社22.3%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①既に取り組んでいる	51	29.1%
②今後取り組む予定	85	48.6%
③取り組む予定はない	39	22.3%
合 計	175	

IX. 社内業務のデジタル化を進めるための課題について(複数回答)

- 社内業務のデジタル化を進めるための課題について聞いたところ、回答のあった175社中、①「社内に詳しい人材がない」が67件19.9%、⑤「他の業務が優先され先送りしている」が49件14.5%、②「社内のシステム戦略が整備されていない」が42件12.5%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①社内に詳しい人材がない	67	19.9%
②社内のシステム戦略が整備されていない	42	12.5%
③社内に複数のシステムが存在し、連携していない	33	9.8%
④自社の業務に合ったシステムが見つからない	33	9.8%
⑤他の業務が優先され先送りしている	49	14.5%
⑥導入効果がわからない	37	11.0%
⑦導入資金がない	15	4.5%
⑧導入に対する支援制度がない	15	4.5%
⑨導入する必要性を感じない	19	5.6%
⑩導入したが使いこなせていない	4	1.2%
⑪何から手をつけるべきかわからない	11	3.3%
⑫ITに関して相談できる相手がいない	8	2.4%
⑬その他	4	1.2%

○その他のコメント

<建設業>

- 支援制度があっても、申込みに対して労力がかかる（一般電気工事業）
- 特に課題なし（総合建築工事業）

<製造業>

- 業界全体が取組んでおらず、当社のみ進めても利用できない（水産物製造・卸売業）

<小売業>

- 特に課題なし（牛乳販売）

Ⅷ. 総括表

秋田県内中小企業景況調査
全産業別景気判断比較表(DI値)
(第4四半期:2023年4月~6月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(1-3月)		今期(4-6月)				前期(1-3月)		今期(4-6月)				前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)
		(B)		(C)-(A)	(D)-(C)			(C)-(A)		(D)-(C)	(B)			(C)-(A)		(D)-(C)	(B)	
全産業	▲ 16.8	▲ 21.6	▲ 21.1	-4.3	▲ 21.7	-0.6	▲ 4.2	▲ 9.6	▲ 12.0	-7.8	▲ 17.1	-5.1	▲ 13.3	▲ 16.3	▲ 18.8	-5.5	▲ 16.6	2.2
建設業	▲ 25.0	▲ 30.5	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	2.8	▲ 22.3	▲ 22.2	▲ 33.3	-11.0	▲ 25.0	8.3	▲ 13.9	▲ 11.1	▲ 11.1	2.8	▲ 11.1	0.0
製造業	2.6	▲ 10.5	▲ 19.5	-22.1	▲ 22.3	-2.8	13.2	2.6	5.5	-7.7	▲ 11.2	-16.7	▲ 10.5	▲ 23.6	▲ 25.0	-14.5	▲ 25.0	0.0
卸売業	▲ 32.3	▲ 41.2	▲ 30.3	2.0	▲ 33.4	-3.1	▲ 2.9	▲ 11.8	▲ 18.1	-15.2	▲ 24.2	-6.1	▲ 23.6	▲ 20.6	▲ 24.3	-0.7	▲ 21.2	3.1
小売業	▲ 29.1	▲ 25.8	▲ 25.7	3.4	▲ 22.9	2.8	▲ 42.0	▲ 35.5	▲ 25.7	16.3	▲ 25.7	0.0	▲ 12.9	▲ 12.9	▲ 25.7	-12.8	▲ 11.5	14.2
サービス業	0.0	3.7	▲ 5.7	-5.7	▲ 8.6	-2.9	37.1	22.2	11.5	-25.6	0.0	-11.5	▲ 3.7	▲ 11.1	▲ 8.6	-4.9	▲ 14.3	-5.7

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(1-3月)		今期(4-6月)				前期(1-3月)		今期(4-6月)				前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)
		(B)		(C)-(A)	(D)-(C)			(C)-(A)		(D)-(C)	(B)			(C)-(A)		(D)-(C)	(B)	
全産業	▲ 11.0	2.7	▲ 11.1	-0.1	▲ 23.3	-12.2	▲ 15.6	▲ 13.8	▲ 25.8	-10.2	▲ 24.6	1.2	▲ 36.8	▲ 35.0	▲ 29.7	7.1	▲ 28.6	1.1
建設業	▲ 19.5	▲ 8.3	▲ 11.1	8.4	▲ 25.0	-13.9	▲ 30.5	▲ 27.8	▲ 30.6	-0.1	▲ 25.0	5.6	▲ 36.1	▲ 41.6	▲ 41.6	-5.5	▲ 38.9	2.7
製造業	▲ 2.7	13.5	▲ 11.1	-8.4	▲ 22.3	-11.2	▲ 5.3	▲ 7.9	▲ 22.2	-16.9	▲ 27.7	-5.5	▲ 44.8	▲ 36.8	▲ 41.7	3.1	▲ 36.1	5.6
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 23.6	▲ 23.6	▲ 27.3	-3.7	▲ 33.3	-6.0	▲ 29.5	▲ 29.4	▲ 15.1	14.4	▲ 18.1	-3.0
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 12.9	▲ 3.2	▲ 25.7	-12.8	▲ 20.0	5.7	▲ 29.0	▲ 25.8	▲ 8.6	20.4	▲ 11.4	-2.8
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 22.9	-19.2	▲ 17.1	5.8	▲ 44.5	▲ 40.7	▲ 40.0	4.5	▲ 37.2	2.8

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第4四半期:2023年4月~6月)

1. 今期の状況

業 種		業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	22	94	59	45	64	66	12	118	45	12	40	20	23	84	68	11	101	63
	%	12.6	53.7	33.7	25.7	36.6	37.7	6.9	67.4	25.7	16.7	55.6	27.8	13.1	48.0	38.9	6.3	57.7	36.0
	DI	▲ 21.1			▲ 12.0			▲ 18.8			▲ 11.1			▲ 25.8			▲ 29.7		
建設業	実数	3	21	12	5	14	17	2	28	6	6	20	10	3	19	14	1	19	16
	%	8.3	58.3	33.3	13.9	38.9	47.2	5.6	77.8	16.7	16.7	55.6	27.8	8.3	52.8	38.9	2.8	52.8	44.4
	DI	▲ 25.0			▲ 33.3			▲ 11.1			▲ 11.1			▲ 30.6			▲ 41.6		
製造業	実数	4	21	11	13	12	11	1	25	10	6	20	10	6	16	14	3	15	18
	%	11.1	58.3	30.6	36.1	33.3	30.6	2.8	69.4	27.8	16.7	55.6	27.8	16.7	44.4	38.9	8.3	41.7	50.0
	DI	▲ 19.5			5.5			▲ 25.0			▲ 11.1			▲ 22.2			▲ 41.7		
卸売業	実数	3	17	13	5	17	11	1	23	9				3	18	12	3	22	8
	%	9.1	51.5	39.4	15.2	51.5	33.3	3.0	69.7	27.3				9.1	54.5	36.4	9.1	66.7	24.2
	DI	▲ 30.3			▲ 18.1			▲ 24.3						▲ 27.3			▲ 15.1		
小売業	実数	4	18	13	7	12	16	2	22	11				4	18	13	2	28	5
	%	11.4	51.4	37.1	20.0	34.3	45.7	5.7	62.9	31.4				11.4	51.4	37.1	5.7	80.0	14.3
	DI	▲ 25.7			▲ 25.7			▲ 25.7						▲ 25.7			▲ 8.6		
サービス業	実数	8	17	10	15	9	11	6	20	9				7	13	15	2	17	16
	%	22.9	48.6	28.6	42.9	25.7	31.4	17.1	57.1	25.7				20.0	37.1	42.9	5.7	48.6	45.7
	DI	▲ 5.7			11.5			▲ 8.6						▲ 22.9			▲ 40.0		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第4四半期:2023年4月~6月)

2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	18	101	56	35	75	65	11	124	40	6	44	23	16	100	59	10	105	60
	%	10.3	57.7	32.0	20.0	42.9	37.1	6.3	70.9	22.9	8.2	60.3	31.5	9.1	57.1	33.7	5.7	60.0	34.3
	DI	▲ 21.7			▲ 17.1			▲ 16.6			▲ 23.3			▲ 24.6			▲ 28.6		
建設業	実数	4	20	12	6	15	15	2	28	6	3	21	12	3	21	12	1	20	15
	%	11.1	55.6	33.3	16.7	41.7	41.7	5.6	77.8	16.7	8.3	58.3	33.3	8.3	58.3	33.3	2.8	55.6	41.7
	DI	▲ 22.2			▲ 25.0			▲ 11.1			▲ 25.0			▲ 25.0			▲ 38.9		
製造業	実数	3	22	11	7	18	11	0	27	9	3	22	11	2	22	12	3	17	16
	%	8.3	61.1	30.6	19.4	50.0	30.6	0.0	75.0	25.0	8.3	61.1	30.6	5.6	61.1	33.3	8.3	47.2	44.4
	DI	▲ 22.3			▲ 11.2			▲ 25.0			▲ 22.3			▲ 27.7			▲ 36.1		
卸売業	実数	1	20	12	5	15	13	2	22	9				2	18	13	2	23	8
	%	3.0	60.6	36.4	15.2	45.5	39.4	6.1	66.7	27.3				6.1	54.5	39.4	6.1	69.7	24.2
	DI	▲ 33.4			▲ 24.2			▲ 21.2						▲ 33.3			▲ 18.1		
小売業	実数	4	19	12	5	16	14	4	23	8				4	20	11	2	27	6
	%	11.4	54.3	34.3	14.3	45.7	40.0	11.4	65.7	22.9				11.4	57.1	31.4	5.7	77.1	17.1
	DI	▲ 22.9			▲ 25.7			▲ 11.5						▲ 20.0			▲ 11.4		
サービス業	実数	6	20	9	12	11	12	3	24	8				5	19	11	2	18	15
	%	17.1	57.1	25.7	34.3	31.4	34.3	8.6	68.6	22.9				14.3	54.3	31.4	5.7	51.4	42.9
	DI	▲ 8.6			0.0			▲ 14.3						▲ 17.1			▲ 37.2		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2023年4月～6月）

1. 今期の状況

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	22	94	59	45	64	66	12	118	45	12	40	20	23	84	68	11	101	63
	%	12.6	53.7	33.7	25.7	36.6	37.7	6.9	67.4	25.7	16.7	55.6	27.8	13.1	48.0	38.9	6.3	57.7	36.0
	DI	▲ 21.1			▲ 12.0			▲ 18.8			▲ 11.1			▲ 25.8			▲ 29.7		
秋田	実数	11	36	22	21	25	23	6	46	17	4	19	5	12	30	27	5	39	25
	%	15.9	52.2	31.9	30.4	36.2	33.3	8.7	66.7	24.6	14.3	67.9	17.9	17.4	43.5	39.1	7.2	56.5	36.2
	DI	▲ 16.0			▲ 2.9			▲ 15.9			▲ 3.6			▲ 21.7			▲ 29.0		
大館	実数	4	15	5	9	7	8	3	18	3	4	3	2	5	9	10	2	11	11
	%	16.7	62.5	20.8	37.5	29.2	33.3	12.5	75.0	12.5	44.4	33.3	22.2	20.8	37.5	41.7	8.3	45.8	45.8
	DI	▲ 4.1			4.2			0.0			22.2			▲ 20.9			▲ 37.5		
能代	実数	0	14	10	2	13	9	0	19	5	1	5	3	0	14	10	0	18	6
	%	0.0	58.3	41.7	8.3	54.2	37.5	0.0	79.2	20.8	11.1	55.6	33.3	0.0	58.3	41.7	0.0	75.0	25.0
	DI	▲ 41.7			▲ 29.2			▲ 20.8			▲ 22.2			▲ 41.7			▲ 25.0		
大曲	実数	2	13	3	5	9	4	0	15	3	1	5	2	2	13	3	1	9	8
	%	11.1	72.2	16.7	27.8	50.0	22.2	0.0	83.3	16.7	12.5	62.5	25.0	11.1	72.2	16.7	5.6	50.0	44.4
	DI	▲ 5.6			5.6			▲ 16.7			▲ 12.5			▲ 5.6			▲ 38.8		
横手	実数	4	7	9	5	3	12	2	9	9	2	4	4	3	7	10	1	11	8
	%	20.0	35.0	45.0	25.0	15.0	60.0	10.0	45.0	45.0	20.0	40.0	40.0	15.0	35.0	50.0	5.0	55.0	40.0
	DI	▲ 25.0			▲ 35.0			▲ 35.0			▲ 20.0			▲ 35.0			▲ 35.0		
湯沢	実数	1	9	10	3	7	10	1	11	8	0	4	4	1	11	8	2	13	5
	%	5.0	45.0	50.0	15.0	35.0	50.0	5.0	55.0	40.0	0.0	50.0	50.0	5.0	55.0	40.0	10.0	65.0	25.0
	DI	▲ 45.0			▲ 35.0			▲ 35.0			▲ 50.0			▲ 35.0			▲ 15.0		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2023年4月～6月）

2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	18	101	56	35	75	65	11	124	40	6	44	23	16	100	59	10	105	60
	%	10.3	57.7	32.0	20.0	42.9	37.1	6.3	70.9	22.9	8.2	60.3	31.5	9.1	57.1	33.7	5.7	60.0	34.3
	DI	▲ 21.7			▲ 17.1			▲ 16.6			▲ 23.3			▲ 24.6			▲ 28.6		
秋田	実数	9	36	24	15	29	25	5	47	17	4	17	8	8	36	25	4	41	24
	%	13.0	52.2	34.8	21.7	42.0	36.2	7.2	68.1	24.6	13.8	58.6	27.6	11.6	52.2	36.2	5.8	59.4	34.8
	DI	▲ 21.8			▲ 14.5			▲ 17.4			▲ 13.8			▲ 24.6			▲ 29.0		
大館	実数	3	16	5	11	7	6	1	20	3	0	6	3	3	15	6	2	11	11
	%	12.5	66.7	20.8	45.8	29.2	25.0	4.2	83.3	12.5	0.0	66.7	33.3	12.5	62.5	25.0	8.3	45.8	45.8
	DI	▲ 8.3			20.8			▲ 8.3			▲ 33.3			▲ 12.5			▲ 37.5		
能代	実数	0	16	8	0	15	9	0	19	5	0	6	3	0	14	10	0	20	4
	%	0.0	66.7	33.3	0.0	62.5	37.5	0.0	79.2	20.8	0.0	66.7	33.3	0.0	58.3	41.7	0.0	83.3	16.7
	DI	▲ 33.3			▲ 37.5			▲ 20.8			▲ 33.3			▲ 41.7			▲ 16.7		
大曲	実数	2	13	3	5	7	6	1	15	2	1	4	3	1	14	3	1	9	8
	%	11.1	72.2	16.7	27.8	38.9	33.3	5.6	83.3	11.1	12.5	50.0	37.5	5.6	77.8	16.7	5.6	50.0	44.4
	DI	▲ 5.6			▲ 5.5			▲ 5.5			▲ 25.0			▲ 11.1			▲ 38.8		
横手	実数	3	10	7	3	7	10	3	12	5	1	6	3	3	10	7	1	12	7
	%	15.0	50.0	35.0	15.0	35.0	50.0	15.0	60.0	25.0	10.0	60.0	30.0	15.0	50.0	35.0	5.0	60.0	35.0
	DI	▲ 20.0			▲ 35.0			▲ 10.0			▲ 20.0			▲ 20.0			▲ 30.0		
湯沢	実数	1	10	9	1	10	9	1	11	8	0	5	3	1	11	8	2	12	6
	%	5.0	50.0	45.0	5.0	50.0	45.0	5.0	55.0	40.0	0.0	62.5	37.5	5.0	55.0	40.0	10.0	60.0	30.0
	DI	▲ 40.0			▲ 40.0			▲ 35.0			▲ 37.5			▲ 35.0			▲ 20.0		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

参考

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴（2023年4～6月）

1 県 央	
建設業	発注業務が本格的になっており、受注に向け努力している【一般土木建築工事業】
建設業	年度末工事完成により完成工事額が増加した【一般土木建築工事業】
建設業	民間工事の減少により完成工事額が減少した【塗装工事業】
建設業	年度初めから受注高増加に伴い、売上高も増加した【一般電気工事業】
製造業	経済活動の正常化が進み、業務用向け出荷は回復が期待されるものの、飲食店は食材費や光熱費の高騰と人手不足により、営業がままならない事例や、閉店・廃業が散見され、コロナ前のような広がりや勢いは感じられない。家庭向けはコロナ期の家飲み需要拡大の反動と物価高の影響によりパック酒を中心に振るわない状況が続いている。資材の値上げは留まる気配が感じられない【清酒製造業】
製造業	主力原材料（鮮魚）の漁獲量が少なく、売上が減少している【水産物製造・卸売業】
製造業	昨年と比較すると、コスト上昇分の価格への転嫁ができた分、増収となったが、利益率も回復して業況も良くなった【金属製品製造業】
製造業	原材料上昇（資材）により売上は上がったが、利益は下がった【金属製品製造業】
卸売業	値上げにより、売上・利益共に好転した【飲料卸売業】
卸売業	値上げに伴う売上が増加した。利益率は低下している【その他の食料・飲料卸売業】
小売業	リニューアルオープンにより売上が増加した【靴小売業】
小売業	売上の減少に伴い、仕入は減少するが、販管費が減らず頭を抱えている【茶類小売業】
小売業	前年並みの実績を残すことができました【自動車部分品・附属品小売業】
小売業	半導体不足の影響があるものの、低燃費車のHEV車等メーカー生産が正常化に戻りつつあり、国内向け出荷台数が増加していることから、増収・増益となった【自動車小売業】
サービス業	売上で見ると、車販が前年度と比較し単価が上がったが、その分売上が伸び悩んだ【自動車一般整備業】
サービス業	売上は徐々にコロナ前へ回復しつつあるが、人件費および光熱費の値上がりにより、まだ採算が取れていない【ビルメンテナンス業】
サービス業	前年同期より好転しているとはいえ、コロナ禍からの戻りは弱く、また人手不足により収益機会を逃すケースもある【一般乗用旅客自動車運送業】
2 県 北	
小売業	仕入費用が高止まりしており、増収減益が続いている【生花・造花販売】
サービス業	コロナ5類への移行に伴い、会合が復活している【食堂】
3 県 南	
建設業	雪解けから早めの大型工事を受注したため、順調に推移している【板金工事業】
製造業	回復傾向にある【乾麺製造業】
製造業	原材料の高騰に売上が追いつけない【製麺業】
小売業	減収増益となった【燃料販売】
小売業	資金繰りで苦しい月があった【菓子製造小売】
小売業	人手不足により現在の仕事で精一杯である【精肉】
サービス業	コロナから売上は戻りつつあるが、コロナ前の水準には達しておらず、一方で物価高の影響や賃金上昇により利益は減少している状況である【ホテル業】
サービス業	売上額は増加傾向にあるが、単月黒字までは達していない【冠婚葬祭式場】
サービス業	商店街への来街者が減少【写真館】

Ⅱ 来期の見通し（2023年4～6月）

1 県 央	
建設業	完成工事額の増加は見込めないと予想している【一般土木建築工事業】
建設業	物価上昇により、採算が不透明【一般土木建築工事業】
建設業	民間工事の減少により完成工事額が減少する見込み。官公工事の未成が増加する見込み【塗装工事業】
建設業	受注高増加に伴い、売上高も増加する見込み【一般電気工事業】
製造業	引き続き業務用の回復が期待されるが、最近の物価高は家計の購買力の低下をもたらし、嗜好品消費を下押しするであろう。電気料金、重油価格、運賃、資材価格高騰の影響が続き、経営を圧迫する【清酒製造業】
製造業	温暖化による魚種の変化、円安による輸入原料の価格上昇が続くと予想している【水産物製造・卸売業】
製造業	首都圏の需要が上昇してきていることもあり、今後の受注も入ってきている【金属製品製造業】
製造業	資材の上昇により売上は上がるが、利益率は下がるとされる【金属製品製造業】
卸売業	今期は値上げにより、売上が増加したが、次期は増加が見込めない【飲料卸売業】
卸売業	今後の動向は不透明である【その他の食料・飲料卸売業】
小売業	前年同期比で同水準の売上を見込んでいるが、リニューアルオープンによる売上増加に期待したい【靴小売業】
小売業	業界の規制緩和により、積極的な販路拡大に取り組もうとしている【茶類小売業】
小売業	旅費交通費、交際費等経費が増える見込み【自動車部分品・附属品小売業】
小売業	半導体不足の影響により一部車種で長納期解消には至っていないが、メーカーから国内出荷台数の増加が続いていることから、前期を上回る販売台数が見込めるため、増収・増益を見込む【自動車小売業】
サービス業	見通すことができない【自動車一般整備業】
サービス業	物価上昇などにより、企業の経費削減が予想される【受託開発ソフトウェア業】
サービス業	売上の増加は見込めるが、経費（光熱費、作業用品など）の値上がりにより、採算が取れていない【ビルメンテナンス業】
サービス業	前年同期より好転しているとはいえ、コロナ禍からの戻りは弱く、また人手不足により収益機会を逃すケースもある【一般乗用旅客自動車運送業】
2 県 北	
建設業	官公庁工事の発注が少なく、大幅な受注減となる見込み【建設工事】
小売業	人手不足解消等を目的に採算性の低い支店を4月に閉鎖したため、売上が減少することを予想している【生花・造花販売】
サービス業	売上は増すと思われるが、原材料の高騰、光熱費の負担増が大きく、利益は減少することが予想される【食堂】
3 県 南	
製造業	年内に受注可能な工事量を確保している。【板金工事業】
製造業	原材料の高騰により採算は悪化する【乾麺製造業】
卸売業	イベント等に関連する売上が増加する見込み【製麺業】
小売業	商品の値上げタイミングを逃し、原材料の値上げが利益の圧迫に繋がる恐れがある【漬物製造】
小売業	購買人口の減少が予想される【工具、金具】
小売業	減収減益となる見込み【燃料販売】
小売業	繁忙期に入るため、資金繰り等が安定する見込み【菓子製造小売】
サービス業	7月は多少の減少、8～9月は微増が予想される【酒類、食料品】
サービス業	消費者は物価高により節約志向と予想している。付加価値などによる売上単価の引き上げにも限界がある【ホテル業】
サービス業	現状では、改善の見通しができない【冠婚葬祭式場】
サービス業	好転の兆しが無い【写真館】